

2016年7月4日(月)
株式会社リクルートライフスタイル
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD 2016年夏休みツアー問い合わせ概況

人気旅行先 1位は「オアフ島」。
2位「台北」、3位「セブ島(フィリピン)」。
4日以内の短期ツアーに伸び、夏休み期間は分散傾向。

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦)は、海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2016年夏休み期間の海外旅行マーケットを考察いたしました。

<結果要約>

1. 夏休みツアーの人気旅行先・・・P2

人気旅行先は1位「オアフ島」、2位「台北」、3位「セブ島(フィリピン)」。
アジア圏からは「シンガポール」、「ダナン」が人気上昇。
「パリ」「ロンドン」がベスト10圏外となり、
代わって「ラスベガス」「ヘルシンキ」などがランクイン。
ブロック別ではアフリカ・その他が大きく躍進したほか、
オセアニアが前年に引き続き好調を維持。

2. 夏休みツアーの日数、希望する出発日・帰国日・・・P3

「3日以内」「4日」などの短期が増加。平均日数は5.8日で前年と変化なし。
シルバーウィークの日並びがよかった前年に比べ、9月出発は減少。
7月出発も増え、夏休み期間は分散する傾向。

【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

1. 夏休みツアーの人気旅行先

2016年夏休み期間(7月16日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)の新規問い合わせ数(1月1日～6月7日までの問い合わせを集計)は、都市別では「オアフ島(ハワイ)」が1位だったが、シェアは10.6%と前年を下回った。2位に「台北」、3位に「セブ島(フィリピン)」、4位の「グアム」が2ランクアップした。毎年上位に入っていた「パリ」は圏外となり、前年9位の「ロンドン」も同じく圏外へ。7位の「バリ島(インドネシア)」、「シンガポール」、10位の「ダナン」などのアジア圏や、遠距離エリアでは10位に「ラスベガス」「ヘルシンキ」が新たにベスト10に入った(データ1)。

「シンガポール」は人気ホテルに泊まるツアーが依然として人気で、羽田発で行ける手軽なアジア圏として人気定番化している。「ラスベガス」は「グランドキャニオン」「アンテロープキャニオン」などが含まれたツアーが人気で、大自然・絶景ブームが続いているようだ。また現地で見られないショーを目的に訪れるツアーも人気だ。「ヘルシンキ」はここ数年女性を中心に北欧ブームであることが後押ししているよう。「ダナン」は高級ビーチリゾートとして近年人気が高まっている。

エリア別ではアジア、アフリカ・その他、オセアニアが前年比越え。特にオセアニアは前年に引き続き好調を維持している(データ2)。

■データ1: 2016年 夏休み期間の問い合わせ 旅行先シェア TOP10

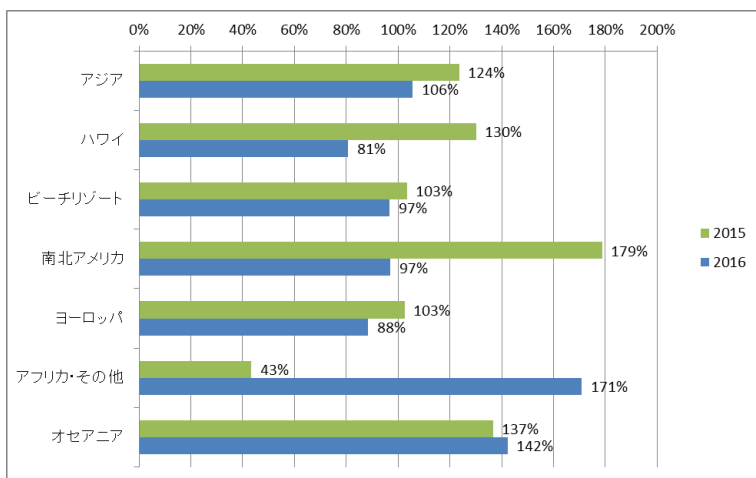
順位	2016年問い合わせ先	シェア	順位	2015年問い合わせ先	シェア	順位	2014年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	10.6%	1	オアフ島	12.9%	1	オアフ島	10.8%
2	台北	4.3%	2	セブ島(フィリピン)	4.8%	2	パリ	3.8%
3	セブ島(フィリピン)	4.1%	3	パリ	3.7%	2	台北	3.8%
4	グアム	2.9%	4	台北	3.1%	4	グアム	3.3%
5	バルセロナ	2.8%	5	バルセロナ	2.8%	5	ローマ	2.9%
6	ローマ	2.7%	6	グアム	2.7%	6	バルセロナ	2.7%
7	バリ島(インドネシア)	2.1%	7	ローマ	2.5%	7	シンガポール	2.3%
7	シンガポール	2.1%	8	ソウル	2.3%	7	セブ島(フィリピン)	2.3%
7	ソウル	2.1%	9	ロンドン	2.2%	9	ソウル	1.7%
10	ラスベガス	1.8%	10	ホーチミン	1.9%	10	フィレンツェ	1.6%
10	ヘルシンキ	1.8%	10	バンコク	1.9%	10	ベネチア	1.6%
10	ダナン	1.8%						

※ 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング

※ 夏休み期間の定義は、いずれの年も7月16日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同じ年の1月1日～6月7日までに発生した問い合わせを集計

※ 「問い合わせ」:『エイビーロード』お客様のメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値

■データ2: 2016年 夏休み期間の問い合わせ エリア別前年比

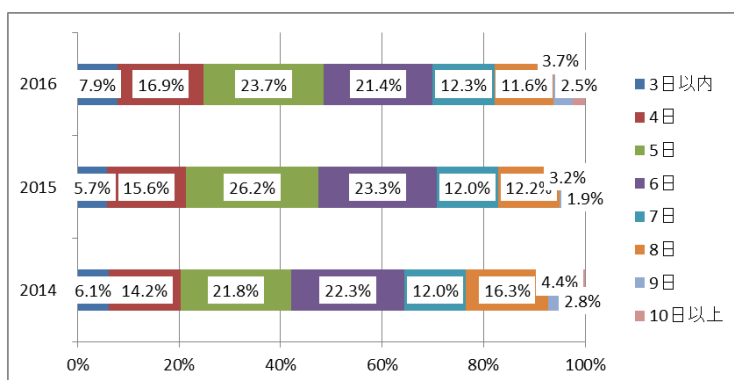


※ 前年問い合わせ実績を100%としたときの、2016年の問い合わせ実績を%で表示。

2. 夏休みツアーの日数、希望する出発日・帰国日

ツアー日数に関しては、2016年は「5日」「6日」がそれぞれ2割以上を占めておりボリュームゾーンとなっているが、前年までのシェアと比較するといずれも減少傾向にあり、「3日以内」「4日」の短期が増加(データ3)。平均日数は前年と同様5.8日(データ4)。出発希望日はお盆のシェアが高いものの、希望帰国日は「7月18日」のシェアが最も高い(データ5)。月別シェアでは、シルバーウィークの日並びがよかった前年に比べて、9月の出発・帰国が減少。今年から「8月11日」が『山の日』に制定され祝日となったが、8月の出発・帰国日のシェアは2014年よりもむしろ低い結果となった。前年と比べて7~9月にかけて分散した形となった。

■データ3: 夏休み期間の問合せ 日数別シェア(2014~2016年比較)



■データ4: 夏休み期間の問い合わせ 平均日数(2014~2016年比較)

年	2014	2015	2016
平均日数	6.0	5.8	5.8

■データ5: 夏休みツアー問い合わせシェア 希望出発日・帰国日(日にち別)

順位	希望出発日	シェア	順位	希望帰国日	シェア
1	8月11日	6.7%	1	7月18日	5.5%
2	8月10日	4.3%	2	8月15日	5.2%
3	7月16日	3.3%	3	8月16日	4.5%
4	8月13日	3.2%	4	8月14日	3.4%
5	7月15日	3.1%	5	8月17日	3.3%
5	7月14日	3.1%			

■データ6: 夏休みツアー問い合わせシェア 希望出発日・帰国日(月別合計)

出発月	2014	2015	2016
7月出発計	30.3%	26.2%	28.8%
8月出発計	55.3%	39.2%	51.1%
9月出発計	14.4%	34.6%	20.0%

帰国月	2014	2015	2016
7月帰着計	25.2%	21.9%	22.8%
8月帰着計	58.4%	41.8%	55.0%
9月帰着計	15.5%	35.5%	21.1%
10月帰着計	0.8%	0.9%	1.2%